

＜昨年度の綾瀬市型小中一貫教育の取組について＞

昨年度もコロナ禍ではありましたが、各中学校区では小中一貫教育についての様々な取組が見られました。他の中学校区でのよい実践を共有し、自校または自校のある中学校区で取り入れていながら、市内小・中学校全体での取組にしていきたいと考えています。

昨年度の取組について、各中学校区ごとに報告いただいた内容をお伝えします。

○小中交流会では、講師を招いて講演会を行い、グループごとに分かれ、小中連携・一貫教育の課題解決のためのワークショップを行った。その中でも、教員同士が互いを知るために他己紹介をしたり、小中交流会当日の授業参観および清掃参観を通して、教科・生活指導における様々な課題や悩み等を共有したりすることができた。



○小・中学校で集まり、中学校の授業を参観し、同時に小中一貫連絡検討会を行う中で教科指導や家庭学習、地域連携、道徳教育、生活指導、児童・生徒活動の取組について情報交換を行うことができた。同時に昨年度は授業公開の教科を特別の教科道徳に設定し、互いに参観し合うことで授業スタイルの確認を行うことができた。

○小学校教員が、中学校の校内研究の提案授業を参観した。また、その後の協議にも参加し、多くの意見を交換したことにより、相互に事後の授業に生かすことができた。

○学校だよりや校内研だよりを共有することで、各校の様子を知ることができた。

○中学校の美術の作品を小学校で展示することで、特に高学年は中学校への意欲付けにつながった。



コロナ禍であるため、計画していた取組が実施できなかった面もありますが、教員同士の交流や、学校便りや作品等の共有をとおした「つながり」をつくるための取組が推進できました。

今後も、先生方のアイデアを生かしながら取組が推進できるよう、綾瀬市型小中一貫推進連絡協議会が中心となってサポートしていきます。

＜『あやせ学びづくり運動』の取組について＞

綾瀬市では、「あやせ学びづくり運動」として、授業改善とともに「生活習慣づくり」「学習習慣づくり」についての取組を10年以上継続して行っています。生活リズム大作戦（小学校）や、定期テストに向けたマイプラン（中学校）は、すでに児童・生徒や保護者にも十分浸透した取組になっているところです。



現在、本市では、特に「授業での振り返り」と「家庭学習」に重点とし、授業で学んだことを家庭学習につなげる学習習慣の定着を目指しています。家庭とも協力しながら、児童・生徒が自ら学習に取り組めるようになることで、確かな学力が身に付いていくと考えています。

また、タブレット端末を活用した効果的な家庭学習の取り組みせ方についても、すでに実践しているよい取組を市全体で共有していきたいと考えています。